

臨床腫瘍学 I

Clinical Oncology I

単位数：5 単位

○木下芳一 教授：内科学第二
石村典久 講師：消化器内科

石原俊治 准教授：内科学第二

1. 科目の教育方針

臨床腫瘍学 I の講義・演習では、消化管に発生する腫瘍の発生病因、疫学、症状、診断、治療に関する新しい知識について広く学ぶ。また、消化管腫瘍の今後の診療の改善についても考える。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 消化管腫瘍をめぐる問題を多方面から理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 消化管腫瘍の病因を説明できる。
- 2) 消化管腫瘍の疫学を説明できる。
- 3) 消化管腫瘍の診療の現状を説明できる。
- 4) 消化管腫瘍の診療の今後の展望を説明できる。
- 5) 消化管腫瘍の予防方法を説明できる。
- 6) 特殊な消化管腫瘍の臨床的意味を説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

4. 成績評価の方法

講義のテーマごと、および演習のテーマごとのレポートの評価、セミナーへの出席による。

5. 使用テキスト・参考文献

- | | | |
|---------------------------------|-------|------|
| 1) 消化器疾患エッセンシャルドラッグ 1, 2, 3 プラス | 木下芳一編 | 南江堂 |
| 2) 消化器診療スケジュール | 木下芳一編 | 南江堂 |
| 3) 消化器内科薬のルール | 木下芳一編 | 中山書店 |

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	食道癌の疫学 欧米における現況として、食道扁平上皮癌に対する食道腺癌の著明な増加の実態を述べるとともに、本邦の食道癌の疫学について解説する。	木下芳一
2	前癌病態としての Barrett 食道の病態生理および診断 食道腺癌 (Barrett 腺癌) の発生母地である Barrett 食道の病院および病態生理、およびその臨床診断、さらにマネジメントに関する臨床上の問題点を解説する。	石村典久
3	Barrett 腺癌の発癌メカニズム 病理組織学的ならびに分子生物学的観点から、Barrett 食道からの Barrett 腺癌発生機序について解説し、その発癌予防法についても紹介する。	石村典久
4	Barrett 腺癌の特殊治療 Barrett 腺癌の生物学的特性について解説し、昨今の様々な Barrett 腺癌特殊治療について紹介する。	石原俊治
5	早期食道癌の内視鏡治療 食道癌の早期発見、深達度診断、実際の内視鏡治療の適応、実際について	石原俊治
6	早期胃癌の内視鏡治療 胃癌の早期発見、深達度診断、実際の内視鏡治療の適応、実際について	木下芳一
7	早期胃癌の内視鏡治療後の異時性多発について 早期胃癌の内視鏡治療後の異時性多発に遺伝子修復機構の異常 (Microsatellite Instability) が関与している。	石原俊治
8	Helicobacter pylori 感染と胃癌について	石村典久
9	大腸癌の発癌機構 大腸癌の発癌メカニズムを遺伝子の変異を含めて解説する。	石村典久
10	家族性大腸癌 APC と HNPCC の発癌メカニズムについて解説する。	石原俊治
11	炎症と大腸癌 潰瘍性大腸炎例の発癌の特殊性について解説する。	石原俊治
12	消化器癌の分子標的治療 分子標的治療薬と消化器領域での臨床応用に入って解説する。	木下芳一
13	細胞内情報伝達と消化器発癌 Ras、Wnt、C-kit 等の細胞内の情報伝達分子の異常と発癌について解説する。	木下芳一
14	増殖因子と消化器発癌 Reg、TGF β 、FGF、SCF 等の増殖因子の発癌との関わりについて解説する。	石村典久
15	消化器癌と HRQOL 消化器癌を有する患者の QOL の変化、その評価方法について解説する。	木下芳一